

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2026年5月）議事録

日 時：2026年5月15日（金）午後5時00分～7時15分

場 所：東北大学東京分室 サピアタワー 10階

およびZoomによるハイブリッド形式

議 長：永富良一理事長

出席者（現地）：

永富良一理事長，内藤久士，小熊祐子各副理事長，
中田由夫常務理事，井上 茂，甲斐裕子，後藤勝正，
須永美歌子，田畑 泉，中里浩一，町田修一，
宮下政司，宮地元彦各理事，石井好二郎監事，
津田英一第80回大会長

出席者（オンライン）：

赤間高雄，勝川史憲，田村好史，成田和穂，檜垣靖樹，
前田清司各理事，家光素行第79回大会事務局長，
松田尚也第80回大会実行委員長，
西村信哉第80回大会事務局長，
田島卓也第81回大会長，
山口奈美第81回大会事務局長

欠席者：

岡浩一朗，下光輝一，竹森 重，浜岡隆文，
宮川俊平各理事，清田 寛，小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までには訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

2. 令和8年度決算見込みについて（中田常務理事）

宮川財務委員長が欠席のため中田常務理事より，資料に基づき，令和8年度決算見込みについて報告された。収入73,841,383円は見込みであるが，予定通りの収入となれば，令和8年度決算見込の収支差額は，6,538,026円の赤字となる旨，説明された。次回理事会で最終的な決算を報告予定である旨，説明がされた。審議の結果，承認された。

3. 令和9年度予算原案について（中田常務理事）

宮川財務委員長が欠席のため中田常務理事より，資料に基づき，令和9年度予算案について報告された。会員数と会費収入の増加への取り組みの必要性について説明された。次回理事会の予算案の審議に向けて各種委員会等からの予算に関する要望を受け付けたい旨が述べられた。審議の結果，承認された。

4. 令和9年度事業計画について（永富理事長）

資料に基づき，令和9年度事業計画案について，各委員会から報告がなされた。審議の結果，承認された。

5. 第39回日本体力医学会学会賞選考結果について（宮地学会賞等選考委員長）

資料に基づき，4月13日にZoomによるWeb会議での審議にて開催された学会賞選考委員会において，学会賞（体力科学），学会賞（JPFMSM）および奨励賞の候補の3件を選考したことが報告された。副賞（60万円）については，学会賞（体力科学），学会賞（JPFMSM），

奨励賞にそれぞれ20万円とすることが説明された。審議の結果，承認された。

【学会賞（体力科学）】

74巻-3号-1（体力科学）

小川咲桜，長谷川雄彦，吉原利典

発育期における長期間の自発走運動とカロリー制限が雌ラット骨格筋の細胞内シグナル伝達に及ぼす影響

【学会賞（JPFMSM）】

14巻-1号-2（JPFMSM）

Hisashi Takakura, Hitomi Banba, Tatsuya Yamada, Rikuhide Koma, Tsubasa Shibaguchi, Yudai Nonaka and Kazumi Masuda

Modulation of mitochondrial dynamics in skeletal muscle during endurance training: early activation of fission and late induction of fusion protein expression

【奨励賞】

14巻-2号-2（JPFMSM）

Akihiro Hirata, Yuko Oguma and Takeshi Hashimoto

Assessment of adverse events and near-misses during voluntary sports by Japanese middle-aged and older adults: 14-month prospective study

6. 日本体力医学会学会賞選定のための内規の改定について（宮地学会賞等選考委員長）

資料に基づき，学会賞選定内規の改定案について説明がされた。学会賞の在り方自体も含めて，継続審議となった。

7. 名誉会員候補者の推薦について（井上総務委員長）

資料に基づき，名誉会員推薦者の諾否について説明がされた。審議の結果，承認された。

名誉会員候補者については，下記の通り。

（敬称略）

・碓井外幸（ウスイ ソトユキ）77歳

東京国際大学特命教授・特任教授

本学会理事：2006年4月1日～2023年9月17日

・小野寺 昇（オノデラ ショウ）71歳

川崎医療福祉大学教授

本学会理事：2003年4月1日～2019年9月20日

・鈴木政登（スズキ マサト）79歳

東京慈恵会医科大学客員教授

本学会理事：2003年4月1日～2023年9月17日，
2023年度大会長

8. 弔行為に関する申合せの改定について（井上総務委員長）

資料に基づき，弔行為に関する申合せの改定について説明された。審議の結果，承認された。

9. 会員情報閲覧システムの解約について
(井上総務委員長)

資料に基づき、利用料毎月8,000円の会員情報閲覧システムは費用対効果の観点から解約することが提案された。総務委員会で会員リストを管理・運用する方針案が説明された。審議の結果、承認された。

10. 領域横断的連携活動事業（TEAM事業）申請について
(小熊副理事長)

資料に基づき、日本医学会連合の領域横断的連携活動事業（TEAM事業）への申請の検討状況について説明がなされ、審議の結果、承認された。

11. その他

1) ウェブサイト担当者について（中田常務理事）

中田常務理事よりウェブサイト担当者について説明がなされ、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会（井上総務委員長）

- ・資料に基づき、弘前大会における部会・若手の会の企画について報告された。
- ・資料に基づき、部会・若手の会の年次活動報告について報告された。
- ・資料に基づき、若手の会ワークショップの開催について報告された。
- ・資料に基づき、会員情報の集計・大会後アンケートについて報告された。
- ・資料に基づき、大会支援の状況について報告された。
- ・資料に基づき、次々々期大会長の推薦について報告された。

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

(1) 「JPFSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況
<投稿状況> (2025年9月1日～2026年4月20日)

「JPFSM」誌：新規投稿25編（内海外6編）

※前年同期間：新規投稿26編（内海外2編）

審査済＝14編（採択5編，不採択7編，投稿取り下げ1編，修正投稿辞退1編）

審査中＝11編（4/20現在）

J-STAGE早期公開

(2025年12月11日より開始／32編)

J-STAGE Data（2026年3月11日公開／2編）

「体力科学」誌：新規投稿26編

（依頼5編，特集号3編含む）

※前年同期間：新規投稿18編

（依頼3編，特集号2編含む）

審査済＝15編（採択9編，不採択6編）

審査中＝11編（4/20現在）

<発行予定>

「JPFSM」誌

○Vol. 15, No. 3（2026年5月25日発行）

掲載論文4編

○Vol. 15, No. 4（2026年7月25日発行）

掲載論文4編

○Vol. 15, No. 5（2026年9月25日発行）

掲載論文4編

○Vol. 15, No. 6（2026年11月25日発行）

Proceedings

○Vol. 16, No. 1（2027年1月25日発行）

掲載論文4編

○Vol. 16, No. 2（2027年3月25日発行）

掲載論文5編

○Vol. 16, No. 3（2027年5月25日発行）

掲載論文4編

○Vol. 16, No. 4（2027年7月25日発行）

掲載論文2編＋（今後の受理論文）

「体力科学」誌

○Vol. 75, No. 3（2026年6月1日発行）

掲載論文3編

○Vol. 75, No. 4（2026年8月1日発行）

特集号

○Vol. 75, No. 5（2026年10月1日発行）

掲載論文3編

○Vol. 75, No. 6（2026年12月1日発行）

掲載論文2編＋（今後の受理論文）

3) 財務委員会

- ・資料に基づき、2026年4月3日に開催された第1回財務委員会について報告された。
- ・各委員会のR8年度（R7.8.1～R8.7.31）予算執行状況を確認し、各委員会の決算案を6月末までに作成する。
- ・第2回財務委員会を2026年7月17日に開催し、R9年度予算案について協議する。
- ・必要に応じて、過去の決算内容を分析するなどして、赤字決算回避に向けた取り組みを進めていく予定。

2. 第79回（滋賀）大会の収支報告

（家光第79回大会事務局長）

資料に基づき、第79回（滋賀）大会の収支報告が行われ、税理士による確認が終了したことが報告された。

3. 第80回（青森）大会の進捗状況（津田第80回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況が報告された。

4. 第81回（宮崎）大会の進捗状況（田島第81回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況が報告された。

5. その他

1) 健康日本21連絡協議会 連携指標ワーキングについて（小熊副理事長）

資料に基づき、健康日本21連絡協議会 連携指標ワーキングについて報告された。

2) 中央教育審議会教職課程検討における「体育」の位置付けの再構築としての校種横断的「ウェルビーイング基盤科目」（仮称）の創設に関する要望書について（永富理事長）

資料に基づき、教職課程における「体育」の教育的機能の再構成に関する要望書の提出について報告された。